

追跡 あん質問はどぎやんになった？

一般質問で以前取り上げたことが実現しました。

保育ママ(家庭的保育)開始

保育所待機児童対策として保育ママ(家庭的保育)を行ってはどうか。
(平成24年 6月議会で質問)

モニター農家募集 開始

農業分野で新品種や新規事業を、積極的に調査・研究・試験するために、モニター農家として意欲ある農家を募ってはどうか。
(平成23年 12月議会で質問)

待機児童解消のため、早急な対策が必要である。保育ママの受け入れ可能な施設の検討をしていきたい。
執行部回答



はっぴいの園 須屋市民センター近く 定数10名
平成24年11月に開園



ひかり園 武蔵野台 西松屋近く 定数10名
平成24年12月に開園

国・県の研究機関や大学との連携事業の推進、あるいは企業との共同研究事業を進める上で、大変意義があると思う。今後要綱等を整備し、検討を進めていきたい。

執行部回答



試験栽培の様子

同和問題

青木照美議員



青木 あらゆる差別解消に向けての市の取り組みは。

人権啓発教育課長 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律や市の自治基本条例等に基づき各施策を推進している。特に市の人権施策の重要事項を審議するための機関として「市部落差別等をなくし人権を守る審議会」を設置している。市民全体を対象とした研修会では、ハンセン病問題講演会、人権教育研究大会、人権フェスティバルなどがある。さらに市民の集まりに向いて啓発したり、市の広報紙やリーフレットの配布、DVDやビデオの貸し出しをしている。

青木 最近の差別事象は。

人権啓発教育課長 土地差別調査問題が発生している。

青木 どのような事か。

人権啓発教育課長 電話で市に「合志市の土地を購入したいが、市内には同和地区はあるか？」との問い合わせがあった。

青木 どう対処したか。
人権啓発教育課長 「土地を買うのに、



第7回人権フェスティバル

そついった事で判断すること自体差別になる」と答えた。

青木 10月26日号、週刊朝日の取り扱いについて。

教育部長 重大な差別記事であると確認し、市内の図書館については、閲覧及び貸し出しは禁止した。

防災計画

尾方洋直議員



尾方 東日本災害では津波の避難訓練を何度も繰り返し実施された生徒、また地域住民の人命が救われている。本市で毎年実施されている防災訓練では市民の生命、身体及び財産を保護することは、不可能である。

総務課長 災害訓練は住民の意識向上をより一層図るために、今後地域の中で助け合いを深める自主防災組織等への防災活動の取り組みを推進していきたいと考える。

尾方 平成3年台風19号について被害復旧に要した時間と被害総額は両町においても財産負担に大きな被害をもたらした。今後の台風災害想定として災害復興計画としてもらいたい。



台風19号

総務課長 本市の防災環境に的確に対応しまして、風水害、各種災害の段階に応じた予防、対応対策及び災

害復旧対策の充実した復興計画に今後努めてまいりたい。

尾方 要援護者の避難については、災害時の要援護者計画に基づき、地域との連絡を進める方法とは。

福祉課長 災害時に要援護者の避難を迅速に行うためには、地域で普段からの見守りが重要だ。民生児童委員や社協の協力を得て災害時要援護者の登録を進めていく。また自治会等身近な組織にも周知し連携をとっていく。

森林からの恵み

尾方 公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律が10月に基本方針公表されている。そのことから公共建築物等木材利用促進法について、熊本県、森林組合から県下全市町村に要望書が出されている。本市での対応について伺う。

農政課長 県及び森林組合から要望があり、関係各課と情報交換を行い、今年中には公共施設、公共工事木材利用推進基本方針の作成をしていきたいと考えている。